

年号：1997年

月日：9月16日～18日

災害名：台風第19号の概要

大淀川位置図



出典：国土地理院

【平成9年9月台風洪水（台風第19号）の概要】

- ・台風19号の接近に伴い宮崎県全域が大雨となった。
- ・大淀川流域では9月14日1時頃より降り出した雨が断続的に降り続き、16日1時頃より雨は強まり、末吉で27mm、比曾木野で35mm、青井岳で36mm、また、三股では16日2時から3時の間に69mmを最高に大淀川上流域全般で大雨が降った。
- ・この雨により、大淀川全川で警戒水位を突破し、最高水位が岳下で5.31m、高岡で7.08m、柏田で8.22mと過去最高の水位を記録した。
- ・台風19号は9月16日～18日にかけて猛威を振るったとされている。

▼平成9年9月台風洪水（台風第19号）による大淀川水系の被災状況

死者、負傷者	死者2名、負傷者3名
家屋全半壊戸数	25戸
床上・床下浸水	987戸

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）
[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

▼台風第19号による五ヶ瀬川水系の被災状況

死者	1名
家屋全半壊戸数	21戸
床上・床下浸水	2,979戸

出典：五ヶ瀬川水系河川整備基本方針（平成20年2月）
[国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所]

【平成9年9月台風洪水の被災状況】



▲宮崎市大塚地区



▲宮崎市福島地区



▲宮崎市高岡地区



▲宮崎市高岡地区



▲宮崎市瓜田地区

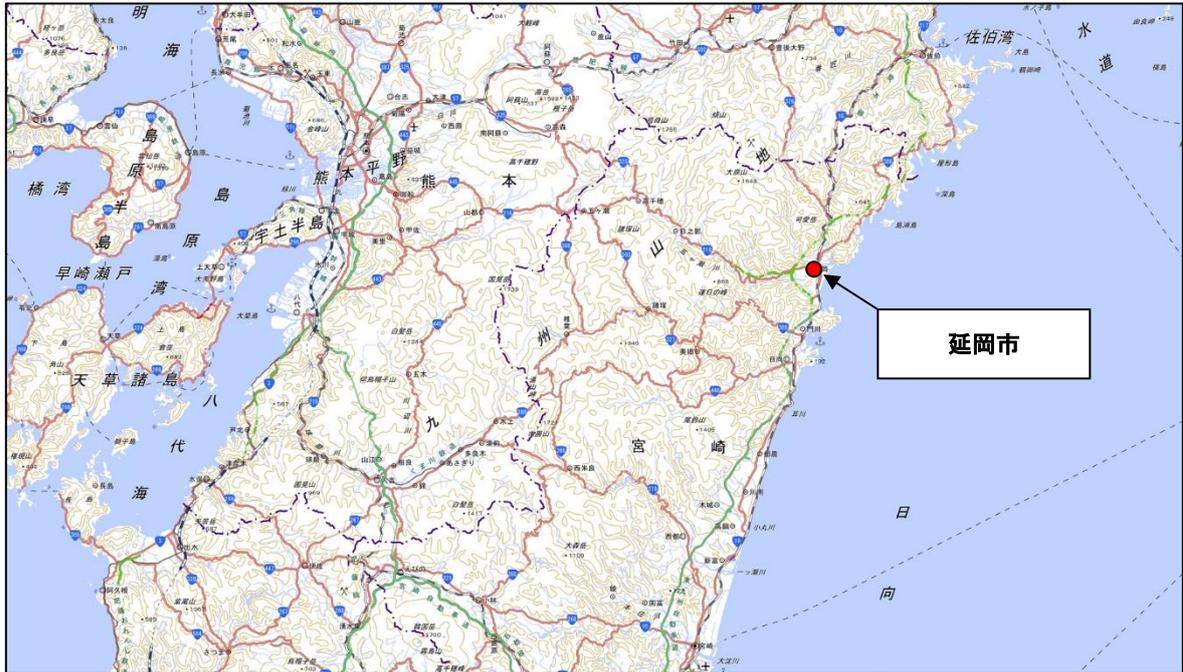
出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

▼大淀川水系既往洪水の概要

洪水名 (発生原因)	流量(m ³ /s) ^{※1} <柏田>	被害状況 ^{※2}	備考
S11年7月22～23日 (暴風雨)	不明	死者 : 3名 負傷者 : 2名 家屋全壊: 6戸 家屋半壊: 7戸 家屋流出: 7戸 家屋浸水: 5173戸	昭和2年 大淀川下流、本庄川下流の直轄改修工事 計画高水流量: 5,500m ³ /s<宮崎地点>
S18年9月18～20日 (台風第26号)	不明	死者 : 114名 負傷者 : 161名 行方不明: 1名 家屋全壊: 567戸 家屋半壊: 1165戸 家屋流出: 508戸 床上浸水: 9361戸	
S24年8月14～16日 (台風第9号)	不明	死者 : 7名 負傷者 : 15名	昭和24年 大淀川上流の直轄改修工事 計画高水流量: 3,000m ³ /s<樋渡地点>
S29年9月10～13日 (台風第12号)	約7,000	死者 : 5名 負傷者 : 10名 家屋全壊: 72戸 家屋半壊: 215戸 家屋流出: 28戸 床上浸水: 3173戸 床下浸水: 5303戸	昭和28年 総体計画 計画高水流量: 4,000m ³ /s<樋渡地点> : 7,000m ³ /s<宮崎地点>
S46年8月26～30日 (台風第23号)	約6,000	負傷者 : 4名 家屋全壊: 4戸 家屋半壊: 6戸 床上浸水: 294戸 床下浸水: 1083戸	昭和39年 総体計画 基本高水のピーク流量: 7,500m ³ /s<宮崎地点> 計画高水流量: 7,000m ³ /s<宮崎地点>
S57年8月24～27日 (台風第13号)	約7,800	家屋半壊: 18戸 床上浸水: 264戸 床下浸水: 463戸	昭和40年 工事実施基本計画 基本高水のピーク流量: 7,500m ³ /s<宮崎地点> 計画高水流量: 7,000m ³ /s<宮崎地点>
H1年7月24～8月3日 (台風第11号)	約7,000	家屋半壊: 62戸 床上浸水: 79戸 床下浸水: 323戸	
H2年9月27～29日 (台風第20号)	約6,300	行方不明者: 1名 負傷者 : 5名 家屋全壊: 2戸 家屋半壊: 57戸 床上浸水: 1187戸 床下浸水: 1908戸	
H5年7月31日～8月2日 (前線)	約7,700	死者 : 1名 負傷者 : 2名 家屋全壊: 12戸 家屋半壊: 2戸 床上浸水: 771戸 床下浸水: 784戸	平成15年 河川整備基本方針の策定 基本高水のピーク流量: 9,700m ³ /s<柏田地点> 計画高水流量: 8,700m ³ /s<柏田地点>
H9年9月14～16日 (台風第19号)	約8,000	死者 : 2名 負傷者 : 3名 家屋全壊: 1戸 家屋半壊: 24戸 床上浸水: 401戸 床下浸水: 586戸	平成17年 大淀川激甚災害対策特別緊急事業
H16年8月29～30日 (台風第16号)	約7,300	負傷者 : 7名 家屋全壊: 2戸 家屋半壊: 5戸 家屋流出: 7戸 床上浸水: 164戸 床下浸水: 203戸	平成18年 河川整備計画の策定 河川整備計画の目標流量: 8,100m ³ /s<柏田地点> 河道の配分流量: 7,200m ³ /s<柏田地点>
H17年9月4～6日 (台風第14号)	約10,500	家屋全壊: 908戸 家屋半壊: 2147戸 床上浸水: 3834戸 床下浸水: 872戸	平成28年 河川整備基本方針の変更 基本高水のピーク流量: 11,700m ³ /s<柏田地点> 計画高水流量: 9,700m ³ /s<柏田地点>

出典：大淀川水系河川整備基本方針（変更）（平成30年6月）[国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所]

宮崎県延岡市、えびの市



出典：国土地理院

【延岡市の水害】

- 宮崎県延岡市は五ヶ瀬川と大瀬川を中心に街並が形成された城下町であり、「水郷のべおか」といわれるように豊かな水と自然に恵まれている。
- 延岡市は市街地を貫流する五ヶ瀬川、大瀬川と支流の祝子川、北川の四つの川が合流し日向灘へ流れ込むため、一たび水害が発生すると、その被害は甚大なものとなる。



▲延岡市の五ヶ瀬川流域地図 出典：国土地理院

- 五ヶ瀬川流域の洪水は原因の多くが台風である。台風が接近すると日向灘の湿った空気が一気に九州山地に吹き寄せて、急激に雲が発生し、豪雨をもたらすために洪水が頻繁に発生する。五ヶ瀬川流域に降った豪雨は一気に延岡市内に流れ込み、大きな被害が幾度も発生している。



▲平成9年9月13日～16日
東海蛇（北川OK200左岸）



▲平成9年9月13日～16日
二ツ島（台風19号）



▲平成9年9月13日～16日
北川町家田（台風19号）



▲平成9年9月13日～16日
北川町熊田橋（台風19号）

出典：国土交通省 九州地方整備局 河川部